

第57回四国中学校総合体育大会
第2日は2日、3県で3競技が行われ、徳島県勢は新体操女子団体で生光学園が2年連続8度目の優勝、羽ノ浦が準優勝に輝き、両校

四国中学校 総合体育大会

第2日

が全国中学校体育大会(全中)の出場権を獲得した。

生光学園2連覇

女子
団体

全中出場権



女子団体の2連覇を飾った生光学園。鳴門アミノバリューホール
(家段良匡撮影)

5人の心一つ 会心演技

生光
学園

2分半の演技をミスなく終えると、生光学園の5人に喜びと安堵(あんど)の笑顔が広がった。団体で13・30点をマークし、四国総体2連覇。選手たちは「今までにないほど良い演技ができた」と達成感をにじませた。

5人の心が一つになった。開始直後、林主将が前転しながら2本のリボンと同時に高く投げ上げる難技を完璧に決める。中盤以降の道具交換もミスなく成功。一つ一つの技と連係を正確にこなし、得点を積み上げた。

10日前の県総体は4連覇しながらも小さなミスがあり、満足のいく出来ではなかった。リボンの操作を微修正し、空調の風の影響を受けないうように大きく回すことなどを意識して猛特訓。成果は確実に表れた。後藤は「県総体の時より確実な演技ができた」と振り返り、飯田は「ノーマスでできた」と喜んだ。

全中の出場権は手にしたが、8位以内の入賞を目指すチームにとってはまだ通過点だ。「完成度をもっと高め、難度の高い技も取り入れたい」と林主将。演技に磨きを掛け、最後の舞台上に挑む。

新体操

(鳴門アミノバリューホール)

◇上位と徳島県勢

【女子】団体①生光学園(林、後藤、飯田、西岡、尾崎)13・30点②羽ノ浦(岡、福岡は、濱口、一宮、福岡)11・40点
生光学園は2年連続8度目の優勝。

▽個人総合①喜田未来乃(香川・坂出)32・75点②賀出(富岡・恵)26・30点③林(生光学園)24・85点④津(鳴門)23・00点